

水泳ニッポンの父

たばたまさじ

田畑政治 展

～2019年大河ドラマ「いだてん」主人公の一人～

地元の浜松の水泳を日本一に、そして日本の水泳を世界一にするために心血を注ぎ、フジヤマのトビウオ「古橋廣之進」を育て上げた田畑政治。浜名湾游泳協会、日本水泳連盟の設立など水泳ニッポンの礎を築いた男は、1964年の東京オリンピック招致活動の先頭に立つ。水泳とオリンピックに生涯を捧げた田畑政治の功績を紹介。

会 場：古橋廣之進記念浜松市総合水泳場
日本水泳の歴史資料室

期 間：平成30年8月4日～平成31年12月29日

入場料：無料

主 催：浜松市

水泳の聖地が生んだ 浜名湖の「韋駄天」

1964年 日本初の 東京オリンピックを招致した男

田畑政治は明治31年、成子町（浜松市中区）で誕生した。体が丈夫でなかったため、幼少期から浜名湖で泳ぐことで、鍛えていたという。地元中学の卒業生により創立された「遠州学友会水泳部」に入会し、リーダーシップを発揮。選手としても活躍するまでに

なったが、大病を患ったことから選手を引退し、指導者に転身する。しかし、戦時中、軍部の統制下にあった日本はスポーツ自体が禁止され、戦後、オリンピック組織委員会を発足したにも関わらず、国際社会から日本の出場を拒否されるなど、散々たる状況に陥ってしまう。そんな苦難を乗り越え、1948年に日本水泳連盟の会長に就任すると、全米水泳選手権に古橋廣之進をはじめとする日本人選手の出場を実現。日本人の地位向上に貢献した。1958年以降、田畑は東京オリンピック招致に向けた準備委員会を牽引し、組織委員会事務総長として、悲願の招致に成功した。

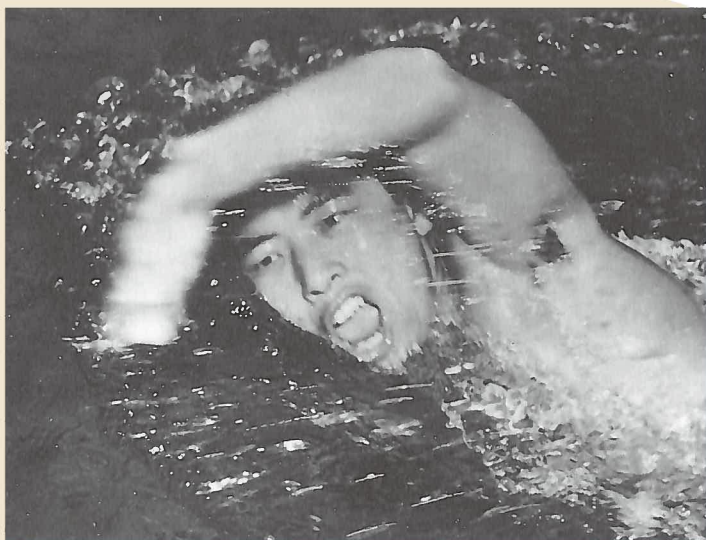


Tabata Masaji

田畑政治

(1898~1984)

浜松中学（現・浜松北高）→
東京帝大（現・東京大学）→
日本水泳連盟第2代会長→
日本オリンピック委員会第10代会長



Furuhashi Hironoshin

古橋廣之進

(1928~2009)

浜松二中（現・浜松西高）→日本大学→
日本水泳連盟第7代会長→
日本オリンピック委員会第13代会長

世界記録を33回更新 敗戦国に勇気を与えた 伝説のスイマー

古橋廣之進は昭和3年、雄踏町（浜松市西区）で誕生した。古橋は将来を期待されるスイマーだったが、激化する戦争と、事故による左手中指切断という悲運に見舞われ、一時水泳を諦める。しかし、終戦を迎え「ハンテは工夫で克服し、魚になるまで泳ぐ」と宣言し、再び水泳に打ち込み、大学対抗水泳大会や国民体育大会、学生選手権で優勝。そして敗戦国として参加が認められなかったロンドンオリンピックに代わり開催された、日本水泳連盟主催の日本選手権大会に出場し、1500m自由形で世界新記録を樹立。これはロンドンオリンピックの金メダリストを40秒以上も上回る記録であった。その後も、数々の大会で世界新記録を更新し続け、敗戦国日本の威信を高め、国民に勇気を与えた。



古橋廣之進記念 浜松市総合水泳場ToBiO

競泳国際大会代表選考会やシンクロナイズドスイミングJAPAN OPENなども開催された。国際規格の50mプールや飛込プールがありながら、市民の健康増進のためのフィットネス・レジャー・リラクゼーションスポットとしての施設も併せ持ち、多彩なスクールも実施している。ここで毎年夏に行われる、古橋廣之進の名を冠した小学生の全国大会「とびうお杯 全国少年少女水泳競技大会」や、浜松市内すべての小学校が必修とする「30分間回泳」は、水泳の聖地の伝統行事である。

問／古橋廣之進記念 浜松市総合水泳場 ToBiO ☎053-489-5463